



本校は、静岡市街地にほど近く、大型商業施設や静岡駅等にもアクセスしやすい位置にある一方、季節の移り変わりを感ずることが出来る谷津山が目の前にあります。全校生徒は815名、静岡市内で最も生徒数の多い中学校です。部活動も大変盛んで、県内では珍しいハンドボール部を含め、現在22の部活動が日々熱心に活動を行っています。

学校教育目標は「活力ある生徒」、重点目標は「みんなが安心して挑戦できる環境づくり」です。また、校長からは「みんなで幸せになろう」というミッションが学校に提案されています。これには、新型コロナウイルスと共に歩む時代、戦争によ

本校は御殿場市の市街地北東部に位置し、1991年に開校した比較的新しい学校です。御殿場市内には、富士山を望む広々とした公園が多数あり、放課後や週末に、子供たちが安心して遊べる場所が充実しています。東小

学校は、自然豊かな場所でありながら、御殿場駅や東名高速道路、新東名高速道路のICに近く、首都圏へのアクセスが良い場所にあります。

本校の学校教育目標は、「人にやさしく、ものにやさしく、自分にやさしく」です。重点目標は、「笑顔いっぱい

アセスメントの視点が複数あったりという強みがあります。保健室には、「頭痛や腹痛といった内科的な症状を訴えて来室する生徒が多くいます。その中には、アセスメントをしていくとメディア機器に触れる時間が長くなり、生活リズムの乱れや睡眠不足による不調が原因



国際秩序の変化等がある激動の社会の中でも幸せになるために、まずはこの東中学校に在る間に自分も周りも幸せにする様々な挑戦をしてほしいという願いが込められています。

本校は養護教諭が複数配置されているため、来室者一人一人に丁寧に関わることができたり、

くりを進めています。保護者の方々や地域の方々は、クラブ活動の講師、読み聞かせ、図書館の整備、トイレ清掃等、学校活動にたくさん参加してください。子供たちは家庭と地域に見守られ、元氣いっ



ありがとうございます。東小では今年度から、家庭での時間と学校での時間をゆるやかにつなげられるよう、登校後すぐの時間に「ほっとタイム」という時間を設定しました。子供たちは、大きな富士山を眺めながら登校し、

二人の養護教諭で生徒一人一人を大切にしながら様々な取り組みを実践しています。

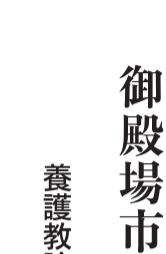
昨年度は、メディア機器使用による健康への影響について保健指導を実施したり、学校保健委員会のテーマにしたりして取り組みました。中でも、デジタルサイネージを利用し、



ものや、SNSや友人関係のトラブル、学習困難、ストレスなどによって不調をきたしているもの等、複雑な背景がみえてくる生徒も少なくありません。

このような実態の中、「生活リズムの乱れを整え健康な体づくりに進んで取り組む生徒を育てる」を保健目標とし、

教室に入った後の15分ほどの「ほっとタイム」に、授業の準備をしたり、読書をしたり、友達や担任の先生と少し話をしたりして過ごしています。始まったばかりの取り組みではありますが、「ほっとタ



ばいに学んでいます。東小では今年度から、家庭での時間と学校での時間をゆるやかにつなげられるよう、登校後すぐの時間に「ほっとタイム」という時間を設定しました。子供たちは、大きな富士山を眺めながら登校し、

静岡市立東中学校

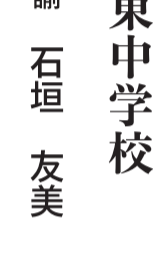
養護教諭 石垣 友美

御殿場市立東小学校

養護教諭 高井香那枝

年度は、ストレスや困難に負けないたくましさ「レジリエンスの育成」を重点的に取り組んでいます。

また、生徒指導部が主体となつて、昨年度から外部機関の「ネット依存トラブル対策プログラム」を学校に取り入れ、メディア機器との上手な付き合い方



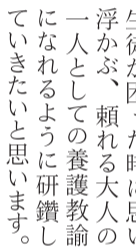
メディア機器を使用しながらも目の健康を守るといった内容の保健指導を実施したところ、本校は校舎のホールにディスプレイが設置されているため、スライド形式の指導が多くの生徒や来校者の目にとまり、学校発信の健康教育が地域に広がるきっかけになりました。本

ば、長期的な関わりが必要になることもありま。継続した支援が必要になる場合、子供と学級との関わりをどのように調整してゆくのかが、学習をどのよう



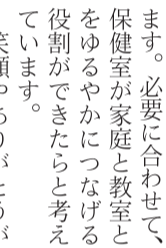
「イム」が家庭と学校をつなぎ、安心を増やす時間になるよう、各学級で試行錯誤しながら過ごしています。

保健室には、様々な困り感を抱えた子供たちが来室します。1回の対応や関わりで元気を取り戻すこともあ



も学んでいます。VUCA時代と言われ、大人も子どもも様々な変化に適応していく力が求められています。私は、今後生徒が幸せに生きていく上で必要な、自己管理能力や高いレジリエンスなどが一人でも多くの子に備わるよう、保健指導や様々な関わりを通して育てていきたいです。また、生徒が困った時に思い浮かぶ、頼れる大人の一人としての養護教諭になれるように研鑽していきたいと思

必要になることもありま。継続した支援が必要になる場合、子供と学級との関わりをどのように調整してゆくのかが、学習をどのよう



げんきな事業所

西伊豆町役場



西伊豆町 (夕陽)

西伊豆町は、伊豆半島西海岸の中央に位置し、北は伊豆市、南は松崎町、東は河津町に隣接しています。町内の海岸線一帯は富士箱根伊豆国立公園及び名勝伊豆西南海岸の指定を受けており、西側は駿河湾、東側は急峻な山並みの天城山系が連なり、美しい自然景観に恵まれた町です。

「夕陽日本一宣言」が行われた夕陽のまちでもあり、駿河湾に沈む夕陽は「日本の夕陽百選」にも選ばれており、町内の様々な箇所です晴らしい夕陽を鑑賞できます。

近年は町内のロケサ

ポート団体「ロケさぼ西伊豆」を設立し、積極的に町内への誘致を行っており、多数のCMやドラマ、映画に西伊豆町を取り上げていただいています。

また、「温泉」や「食」などの資源を有効に活用しながら、町内施設を県内プロスポーツチームのトレーニング地として利用していただくことに力を入れています。

平成17年に旧賀茂村、旧西伊豆町が合併し、新西伊豆町が誕生しました。合併当時の人口は約10,000人でしたが、若者の流出や出生数の減少から、令

和6年4月現在約6,700人まで減少しており、令和5年の高齢化率は52.6%と県内1位となっています。

西伊豆町役場は、正規職員と会計年度任用職員を含めるとおよそ200人が西伊豆町役場本庁や支所・出張所のほか、仁科認定こども園・伊豆海認定こども園、クリーンセンター等の公共施設で業務に従事しています。

【職員の健康管理】
西伊豆町役場では職員の健康管理のため、毎年定期健康診断や、胃・胸部のエックス線検査を実施しています。また、定期健康診断が実施できない職員等に人間ドック受診を勧奨しています。メンタルヘルスに関する取り組みについては、毎年の

ストレスチェックの他、庁舎内で実施する定期的な出張カウンセリングを行っており、特に新規採用職員は優先的にカウンセリング受診を勧め、新しい環境で安心して勤務ができる環境づくりに努めています。

西伊豆町は高齢化率が50%を超えと県内トップとなっており、平成30年から高齢者の閉じこもり予防や認知症予防を目的に、地域の人たちがみんなを取り組めるものとして、町内約30か所でラジオ体操を実施しています。ラジオ体操を基盤とした地域づくりによる高齢者の生活支援活動が評価さ

西伊豆町役場は職員数が少なく、職員一人ひとりの担う職務は多岐にわたっています。安定した行政サービスの提供という観点からも職員の健康管理は重要な課題であり、職員が心身ともに健康で職務に取り組める環境を整えるよう努めています。



西伊豆町 (役場庁舎)

(西伊豆町仁科40111)



西伊豆町 (ラジオ体操)